



令和7年度 常任委員会報告

一日家庭教育学級を開催しました

10月6日(月)一中図書館にて【まなbe】代表 月岡さんの講演(内容は右画像参照)と【まなbe】メンバーのみなさんの体験談のあと、参加者同士の座談会も行われました。

参加者のコメントをご紹介します。

子どもの世界をひらくまなざし
不登校から見える大切なこと

目次

- 1 自己紹介・まなbe紹介
- 2 不登校の定義・現状
- 3 不登校になると・・・子ども・保護者
- 4 我が子の経験から 親としての葛藤
- 5 教育機会確保法 休養の必要性・義務教育とは
- 6 不登校になってからの相談先・居場所 多様な学び
- 7 保護者支援 不登校からの進路
- 8 つながり大切に 地域社会で子どもを守ろう!

昨年度からの企画でしたので、実現できたことが何よりも良かったと思います。参加者の皆さんはもちろん、運営側の皆さんの様子を見ても、こうした場の必要性を強く感じました。(教職員)

「まなbe」は、
みんなの居場所を運営している、
三鷹市社会福祉協議会の登録団体です。

<https://www.mitakashakyo.or.jp/news/14281.html>

教員として、今までも不登校の生徒・保護者の対応をしていきましたが、そこで感じた保護者の悩みやつらさと言うのは本当に一部で、もっと多くのことで気持ちを揺さぶられたり、苦しめられたりしたことがあったのだと、改めて理解することができました。欠席連絡一つとっても悩みの種であると言うのは、体験された方だからこそその視点で、今までの保護者対応では不十分なことが多々あったらうなと反省しております。

学校の教員と言う立場でも「学校に来なくてもできることがある」「不登校＝悪いこと、ではない」と言うのを伝えられるように、今後もいろいろな情報を吸収していきたいと思えます。(教職員)

不登校に関して今後必要な支援については、

①一中にあるサポートルームに毎日支援員がつくようになるとよいです。

②家を出る一步が難しい、学校に来られれば何とかなるといふ生徒もいると思うので、登校支援(お迎え、付き添い、見守りなど、ケースバイケースでの支援)があるとよいです。(教職員)

「待つ」時の心構えについて知りたいです。ただこどものエネルギーが溜まるのを見守るだけでいいのか、何かアクションを起こした方がいいのか…。アクションを起こしたときにすぐに選択肢が出せるように、色々情報を仕入れておくのがいいのか…など。(教職員)

中学校にAルームやBルームがありますが、そこにすら行けない子供がいます。その子たちと学校がうまく連携が取れるようになったらいいな、と思います。先生との連絡方法であったり、オンライン授業(タブレットの活用)、成績をつける材料になる何かを考えていただくなど...(保護者)

一番つらいのは、私だと思っていたので、子供とは険悪な関係です。「一番つらいのは子供なのに」とお話されたお母さん達の寄り添い方は、まだ出来ないなと思いました。(保護者)



参考図書も紹介していただきました

今回はPTAと一中の共催により開催されました。市内小中学生の保護者13名に加え、宮城校長先生、矢澤副校長先生の他、授業の合間を縫って参加して下さった先生方、教育支援コーディネーター、スクールカウンセラー、行政の担当者の方、地域の皆さまなど30名近くの方が参加して下さいました。今回参加できなかったけど、詳しく内容を知りたい...という方は、遠慮なくPTAまでお問合せください。

PTA臨時総会（オンライン）を開催します

PTA常任委員会では、昨年度から引き続き無理のないコンパクトな体制をめざして改革を進めています。つきましては、今回の常任委員会の決議をもとに、PTA会則の改正へ向け、近くオンラインでPTA臨時総会を開催します。追って詳細をお知らせいたしますので、ご確認の上、参加をお願いします。

議題1

周年行事基金積み立てについて

〈背景〉

PTAのスリム化で、全ての予算をスリム化する必要が出てきた

〈意見〉

他の予算とのバランスを鑑み、また、そもそも目標額を立てず積み立てをすること自体に疑問を感じる。過去の周年行事での支出額や目的などを洗い出し、額を決定すればよい

〈決定事項〉

各年20,000円、10年で20万円を目標で積み立て継続する

議題2

エンペイ導入について

〈背景〉

既存の郵貯振り込みでは、納入額が少額の場合、振込手数料が障壁となり、納入者が減るのではないかと？QRコード決済など手軽で決済手数料も本人負担にならないシステムが望まれている

〈決定事項〉

納入金が「PTA活動援助金」となり、個人情報の観点からエンペイ導入は難しく、見送りとなった。ただ将来、日進月歩で三方良しのシステムになることが期待されるので、次年度以降への申し送り事項とする

議題3

納入金の金額について

〈背景〉

前回の委員会で、積立金が積み上がっている中、繰越金を

①納入金の振込手数料に充当

②周年記念行事積立金に充当

し、保護者からの納入金額を減額することを決定

〈意見〉

会計からのミニマム予算をもとに、また次年度納入金が「PTA活動援助金」となり、寄付的要素が強くなることから、納入者が減少することを予想し、ミニマム予算より若干余裕をみた金額が妥当ではないか？

〈決定事項〉

PTA活動援助金として900円を新入生の保護者にのみ案内を出す。なお、振込手数料は、PTA負担とする

議題4

会員の会則及び納入金の名目について

〈背景〉

PTA会員が減少する中、会員の定義や納入金の名目（今までは会費）を見直す必要が出てきた

〈決定事項〉

名目はPTA活動援助金で、会の名称はPTAとする



議題5

次年度役員構成について

〈背景〉

既存の枠組みではなかなか会長職など手が挙げられず、また「役員」という名称上、硬いイメージが付きまとう。手が挙げやすい名称や肩書はないものか？

〈意見〉

実質本位で、実態に則した名称や肩書が良いのではないか

〈決定事項〉

名称:事務局 構成:人数だけ集め、あとは集まった中で決めてもらう(連絡調整担当、庶務、会計)他会計監査 人数は5名以上とする

議題7

ウォーターサーバー設置について

〈背景〉

繰越金が積み上がる中、何か子どもたちに必要なものを購入し充当するのは如何か

〈意見〉

南浦小が今年ウォーターサーバーを設置して好評を博している。検討してみても如何か

〈決定事項〉

次年度より会費がPTA活動援助金となり、寄付的要素が強いため、納入金額の見当がつかない。納入金減額の可能性を考慮し、繰越金が枯渇するのを防ぐため、多額の費用がかかるウォーターサーバーの導入は見送る

議題6

常任委員会の名称について

〈背景〉

役員を事務局へと名称変更したことに伴い、常任委員会の名称も変更する必要があるのでは？

〈決定事項〉

既存の役員会と常任委員会を合わせて、運営委員会とする。運営委員会は、事務局と学年委員で構成する。既存の役員会に相当する単独の事務局会はなく、一つの会とする

議題8

学年委員の名称、人数及び正副委員長制度について

〈背景〉

組織編成が変わったのに際し、既存の学年委員の名称や人数、正副委員長制度の見直しも必要ではないか

〈決定事項〉

- * 学年委員の名称は学年委員のまま
- * 人数は2名以上
- * 正副委員長制度は廃止

議題9

自主企画制度について

〈背景〉

PTAスリム化に伴い委員会等廃止してきたが、全国PTA連盟協議会から、『効率性の重視だけではなく、「続けたい人がいるかも」の視点も重要。少数の方からでも必要とされる活動であれば、少ない協力者でも運営できる形式に変えていくなどの工夫も必要。組織として効率化と多様性のバランスを考えることが重要。』との発信もある

〈意見〉

- * 保護者や子どもたちのために活動したい時に、制度がないために活動できないのは残念だ
- * 役員・常任委員以外でも、新たな活動を企画し実施できるよう、制度の制定をしては如何か
- * 自主企画制度はあっても良いと思うが、一部の方の思いが強くなりPTAとして絶対ではなく、希望があった場合で良いと思う。なるべく負担は軽減した方が良い

〈決定事項〉

自主企画制度を制定する。但し、標準服のリユース活動は自主企画制度によるものではなく、PTA枠内での活動となる